

# ARCHAEOLOGY IN ASUKA 2022



2023 1.20 FRI  
— 3.12 SUN

飛鳥の考古学二〇二二

月曜日休館 2月5日(日)は無料入館日 主催「独立行政法人 国立文化財機構 奈良文化財研究所 飛鳥資料館、奈良県立橿原考古学研究所、明日香村教育委員会、後援「文化庁、近畿日本鉄道株式会社、開館時間「午前9時から午後4時30分(入館は午後4時まで) 入館料 一般350円、大学生200円、高校生及び18才未満・70歳以上(年齢のわかるものが必要)は無料



新型コロナウイルス感染症の影響は、寄せては返す波のように、何度も拡大と縮小を繰り返しています。飛鳥資料館においても、苦渋の決断として臨時休館を決めた時期もありました。そのような苦しい状況の中であって、今年も冬期企画展「飛鳥の考古学」を開催できることを率直に喜ぶとともに、皆様に心より感謝申し上げたいと存じます。

この間、飛鳥では各研究機関の地道な努力により発掘調査が続けられてきました。このたびの展覧会では、近年の調査成果の一部をご紹介します。

飛鳥では、**飛鳥京跡苑池**の調査が一段落しました。今回の展示では、これまでの調査成果を総合して紹介します。また、近年、継続的な調査が始められた**甘樫丘遺跡群**では、遺物がまとまって見つかりました。『日本書紀』に登場する蘇我氏の邸宅との関連が想定され、今後注目される遺跡です。**大官大寺跡の南方**でも調査が実施されており、**石神遺跡**でも膨大な量の出土遺物の整理作業が今も続いています。



1



2



3



4



5



6

藤原京城では、**藤原宮大極殿院**の調査が進められています。今回は大極殿北側の部分を調査し、大極殿院の造営の過程が徐々にあきらかとなってきました。また、奈良県立医科大学の新キャンパス整備にともなう調査では、**藤原京右京五・六条八・九坊、慈明寺遺跡、四条シナノ遺跡**における、弥生時代の水田や土器棺墓、藤原京の条坊にともなう道路側溝などが見つかりました。こちらの発掘調査は今回で一段落となります。この他にも、今回の展覧会では、令和3年度に飛鳥・藤原地域でおこなわれた最新の発掘調査成果を中心として、飛鳥地域から出土した遺物に関する最新の調査研究の成果などもあわせて紹介します。

感染症の大流行は、人類の歴史上で何度も繰り返されてきました。歴史を紹介する研究機関として、過去に学びながらうまくこれと付き合う術を見出し、皆さまに調査の成果をお届けできるよう努力していきたいと思ひます。

- 1 | 石神遺跡出土墨書土器
- 2 | 甘樫丘遺跡群出土墨書土器
- 3 | 石神遺跡出土須恵器蓋
- 4 | 藤原宮大極殿院出土偏行唐草文軒平瓦
- 5 | 石神遺跡出土須恵器皿
- 6 | 本薬師寺跡出土変形忍冬唐草文軒平瓦
- 7 | 甘樫丘遺跡群出土土師器ミニチュア甕表面 | 藤原宮大極殿院・甘樫丘遺跡群出土凝灰岩・榛原石



7

交通

近鉄橿原神宮前駅・飛鳥駅から明日香周遊バス(赤かめ)で「明日香奥山・飛鳥資料館西」下車、または近鉄・JR桜井駅から奈良交通(36系統)「明日香奥山・飛鳥資料館西行」バスで「飛鳥資料館」下車

駐車場

無料 普通車10台分(近くに有料駐車場あり)



奈良文化財研究所 **飛鳥資料館**  
 奈良県高市郡明日香村奥山601  
 TEL 0744-54-3561  
 www.nabunken.go.jp/asuka/

